事業者における放課後デイサービス　自己評価結果（公表）

事業所名　スマイルキッズクラ

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3		学習するスペース、遊ぶスペースなど部屋を区切れるとなおよい
	2	職員の配置数は適切である	3	3	1	病欠などで職員が不足する日は他事業所にヘルプを要請し、対応している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	2		段差はなく、トイレには手すりもついている。劣化や不備が見られれば、都度修繕している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設と振り返り）に、広く職員が参画している	4	2	1	全体的に職員のＰＤＣＡの意識が希薄なため、その重要性を説く研修等が必要である
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1		毎年保護者向けアンケートを実施しており、ご意見やご指摘からよりよい事業所運営につなげている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2	1	「事業者における放課後等デイサービス 自己評価結果」は毎年5月に会社ＨＰに掲載している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4		3	外部評価は今後の事業所運営に不可欠だと考えるため、どのような流れで依頼や実施をするのか調べる必要がある
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			新人研修やリーダー研修など、時期や役職に応じた研修が数多く開催されている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	4		在籍の利用者が多く,作成が追い付かないときがあるため、契約日数などの見直し等が必要
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	1	アセスメントを行っても職員間で共有できていないことが多いため、改善が必要
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		職員間でアイディアを出し合い、季節に応じた活動や利用者が喜びそうな活動を5領域に組み込みながら設定している
	12	活動プログラムが固定化されないように工夫している	6		1	既存の活動に新規の活動を組み込み、マンネリ化しないよう工夫している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	4	2	長期休暇については今後は特に細かく設定する必要がある
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5		2	利用者の特性や専門的支援要素を組み込みながら個別支援活動を設定できるとよい
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認している	6	1		朝礼時に活動担当者から内容について共有があり、疑問点や不明点を解消してから支援に臨んでいる
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3		前日の支援について翌日の朝礼で振り返りを行い、次回以降の支援に活かしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	1	利用日ごとに記録を残している。また、朝礼や職員会議などで支援の検証や改善を行う場を設けている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1	1	モニタリングがきちんと行われていないときがあるため、モニタリング担当を選任して管理や実施を徹底していく必要がある
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	3	3	1	ガイドラインを把握している職員ばかりではないため、定期的に勉強会を開催する必要がある
関係機関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	4	3		担当者会議には児童発達支援管理責任者が出席しているが、併せて、現場や利用者をよく知る職員が同席するとなおよい
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	3		基本的に学校と放デイ間で事務的な共有は行っておらず、必要な場合は保護者を通して行っている。ただし、送迎ルールの確認や利用者の当日の学校での様子などは共有できている
	22	医療的ケアを必要とする子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4	1	医療的ケア児の受け入れは行っていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	3	入所前に担当者会議が開催されれば共有し、セルフプランの利用者の場合は保護者から情報収集をしている

関や保護者との連携	２４	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4	1	担当者会議が開催されれば共有できるが、セルフプランの利用者の場合はない
	２５	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	3	支援の質の向上のため、今後開催を検討する必要がある
	２６	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	1	5	公共のルールを学んだり、インクルーシブな支援のために、今後機会をもつ必要がある
	２７	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	3	2	2	市内の放課後等デイサービス連絡会に所属しており、情報共有を図ったり、連携を密にしている
	２８	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			LINE WORKSを活用して当日の様子を保護者にお伝えしたり、送迎時に情報共有を図っている。また定期的に面談を行い、ご家庭での様子や将来のことについて話す機会を設けている
	２９	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	3	1	保護者のニーズや状況を見極めながら今後開催を検討していく
保護者への説明責任	３０	運営規程、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2		契約時、また質問があった際にはわかりやすく説明している
	３１	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			定期的に面談の機会をもったり、保護者からの要望があれば都度家族支援を行っている
	３２	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	3	保護者のニーズや状況を見極めながら今後開催を検討していく
	３３	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			苦情やご指摘があった場合は迅速に対応するとともに、職員間で共有を図り、再発防止に努めている
	３４	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	3		月ごとの活動表を毎月配信している
	３５	個人情報に十分注意している	6	1		個人ファイルは鍵付き書庫で管理し、取り出したら戻すことを徹底している
	３６	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			入社時には研修を行い、障害特性や対応の仕方を学んでいる。また事例検討を行い、支援の質の向上に努めている
	３７	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	4	地域社会との関わりやインクルーシブな支援のために、今後機会をもつ必要がある
非常時等の対応	３８	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	3		各種マニュアルは策定しているが、保護者への周知はしていないため、今後契約時に行っていく
	３９	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			定期的に訓練を行っており、万が一に備えている
	４０	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			定期的に研修を行っており、いざという時は適切な対処ができるよう努めている
	４１	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後デイサービス計画に記載している	5	2		どのような場合に身体拘束を行うのかは決定しているが、利用者への説明はしていないため、今後していく
	４２	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	3		食物アレルギーを持つ利用者は今はいないが、今後入所する利用者に該当者がいれば適切に対応していく
	４３	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			ヒヤリハットの事例が起きた場合には報告書を作成後、事業所内およびグループ内で閲覧できるようにし、再発防止に努めている